



2019年3月期 決算説明会 決算説明資料

2019年6月4日

代表取締役 社長執行役員 安田 正介

証券コード：8130
(東証一部、名証一部)

目次

■ 2019年3月期 決算の状況	p.3
■ 決算の P O I N T	p.4-6
■ 連結損益計算書	p.7
■ 連結売上総利益・販管費・営業利益の推移	p.8
■ EBITDAの推移	p.9
■ 連結税金等調整前純利益の増減	p.10
■ セグメント別売上高と営業利益	p.11
■ インテリアセグメント 関連市場の状況（壁装材）	p.12
■ 外部環境	p.13-14
■ インテリアセグメント 関連市場の状況（床材）	p.15
■ 連結貸借対照表	p.16
■ 連結キャッシュ・フロー計算書	p.17
■ 効率性指標（連結）	P 18-20

■ 中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」 取組み状況と課題	p.21
■ 機能強化	p.22-26
■ 商品力強化 商品トピック	p.27
■ 海外セグメントの取組み	p.28-29
■ 業態の転換への取組み	p.30
■ 人的資源の強化	p.31-32
■ ESG/CSR	p.33
■ 自己株取得の推移と株主還元	p.34
■ 2020年3月期 通期見通し	p.35
■ これまでの課題取組みと今期計画	p.36
■ (サンゲツ単体) 売上総利益・販管費・営業利益 の推移	p.37
■ 連結業績見通し(概要)	p.38
■ 連結業績計画	p.39
■ 連結セグメント別業績計画	p.40
■ 将来見通しに関する注意事項	

2019年3月期 決算の状況

決算のPOINT

1 売上高 1,604.2億円：前期比+40.3億円(+2.6%)、計画比▲35.7億円(▲2.2%)

- ・海外セグメント：前期比+37.6億円(+22.0%)
- ・インテリアセグメント：前期比▲13.4億円(▲1.1%)
- ・エクステリアセグメント：前期比+11.0億円(+7.4%)
- ・照明器具セグメント：前期比+5.6億円(+15.4%)

2 売上総利益 507.2億円：前期比+31.4億円(+6.6%)、計画比▲12.8億円(▲2.5%)

- ・海外セグメント：前期比+15.2億円(+23.8%)
- ・インテリアセグメント：前期比+12.1億円(+3.2%)

3 販売費及び一般管理費 448.2億円：前期比+22.8億円(+5.4%)
計画比▲11.7億円(▲2.6%)

- ・海外セグメント：前期比+16.1億円(+22.2%)
- ・インテリアセグメント：前期比+7.9億円(+2.4%)

4 営業利益 58.9億円：前期比+8.6億円(+17.1%)、計画比▲1.0億円(▲1.7%)

5 当期純利益 35.7億円：前期比▲9.3億円(▲20.7%)、計画比▲10.2億円(▲22.2%)

決算のPOINT

インテリアセグメント

- 壁装事業において、主力見本帳の回収問題、新基幹システムスタート時の物流混乱、量産（廉価）壁紙での他社攻勢により、販売数量減、シェアダウン、売上減
- 床材はタイル類の売上好調によりシェア拡大、9期連続売上増
ファブリックは過去4年間の改善策が奏功、売上増
- 2018年10月1日からの壁紙・ファブリックの値上げは、ほぼ想定通りの進捗
- 床材の値上げは他社対応もあり一部のみ達成
- 路線便運賃値上げに対し、運賃値上げの転嫁・徴収開始に加え、自社配送体制整備等を実施
- 新基幹システム導入によるコスト増

インテリア
全体で売上減

インテリア全体
で総利益増

販管費は
微増

決算のPOINT

海外セグメント

- Koroseal社 : 生産コスト高・新商品発売遅延・見本帳コスト先行により収益低迷
- 山月堂（上海） : 壁紙に加え医療機関向け床材等伸長、累損一掃
- Goodrich社 : 買収前営業不足、商品・見本帳の不備による売上減少

エクステリアセグメント

- サングリーン : 自然災害復旧工事の増加、既存ブロック塀の補修・改修工事の増加による市場全体の活況を受け、増収増益

照明器具セグメント

- 山田照明 : インバウンドやオリンピック需要を背景としたホテル・宿泊施設分野での売上が伸長し、増収増益

連結損益計算書

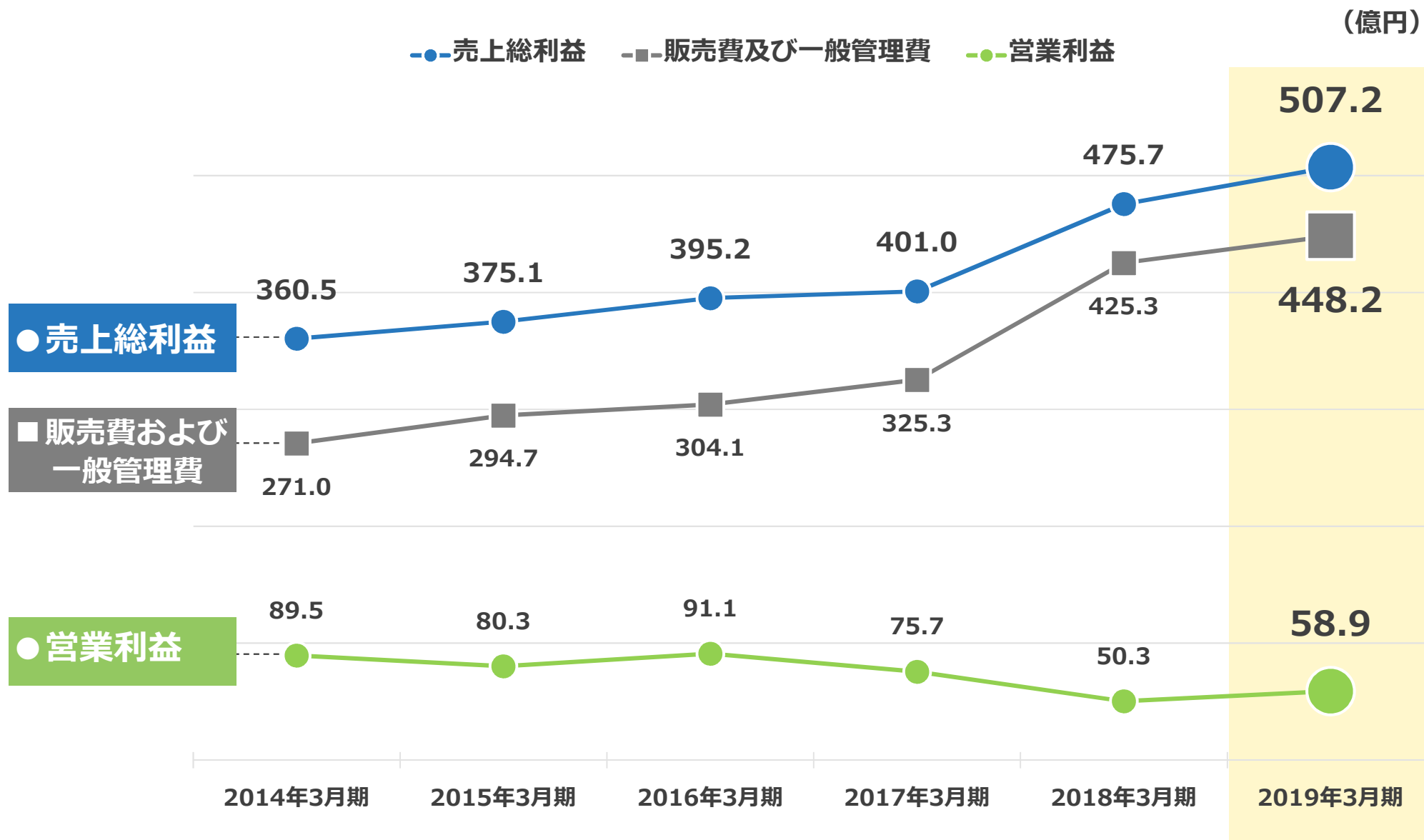
(億円、%)

	2018年3月期		2019年3月期				
	実績	計画	前期比(%)		実績	前期比(%)	
			計画	前期比(%)		実績	前期比(%)
売上高	1,563.9	1,640.0	76.1(4.9%)		1604.2	40.3(2.6%)	▲35.7(▲2.2%)
売上総利益	475.7	520.0	44.3(9.3%)		507.2	31.4(6.6%)	▲12.8(▲2.5%)
販売費及び 一般管理費	425.3	460.0	34.7(8.1%)		448.2	22.8(5.4%)	▲11.7(▲2.6%)
営業利益	50.3	60.0	9.7(19.2%)		58.9	8.6(17.1%)	▲1.0(▲1.7%)
経常利益	56.9	66.0	9.1(15.8%)		66.9	10.0(17.6%)	0.9(1.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	45.1	46.0	0.9(1.9%)		35.7	▲9.3(▲20.7%)	▲10.2(▲22.2%)
EPS(円) ※	68.85	72.06	3.21 (4.7%)		57.16	▲11.69(▲17.0%)	▲14.90 (▲20.7%)
EBITDA	90.9	—	—		97.6	6.6(7.3%)	—

EBITDA = 税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却額 + 減損損失

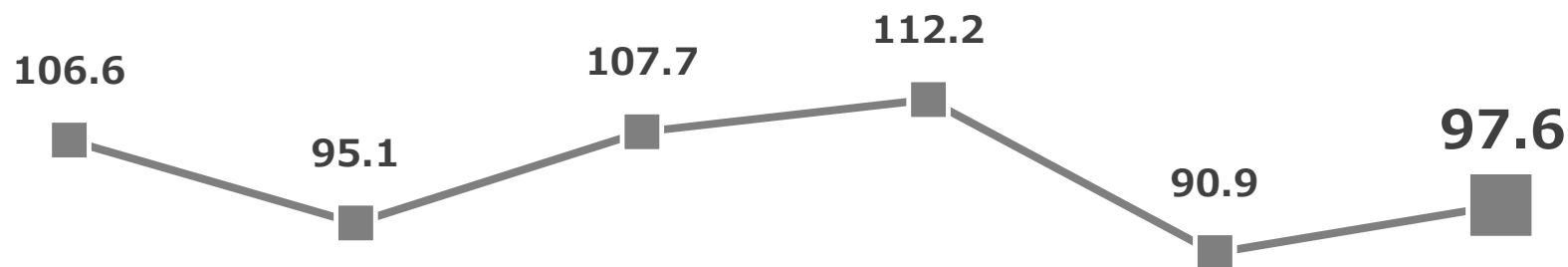
※EPSは潜在株式調整後の株式数にて算出

連結売上総利益・販管費・営業利益の推移



EBITDAの推移

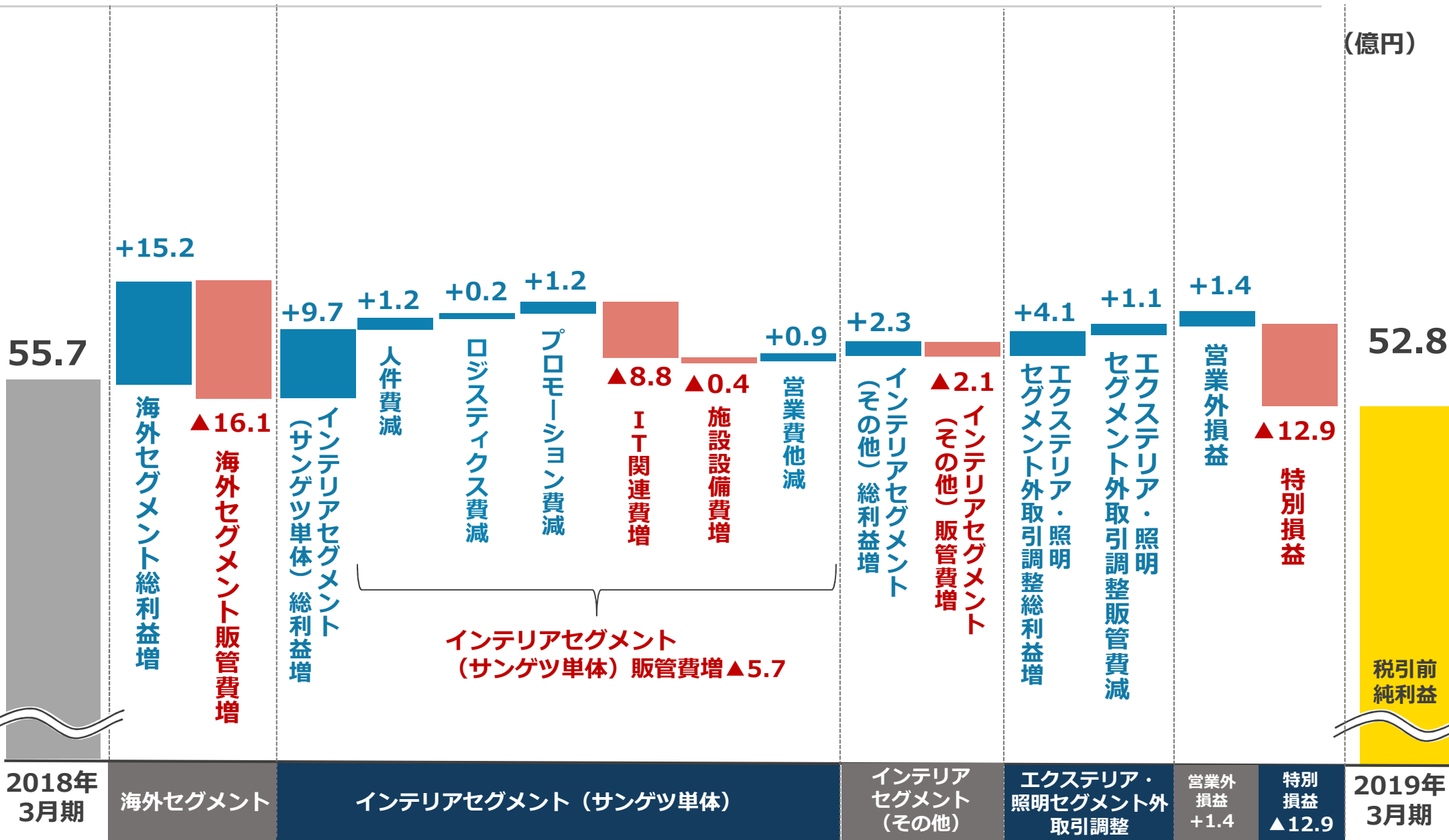
(億円)



(億円)	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
①税引前利益	94.5	71.5	93.4	92.3	55.7	52.8
②支払利息	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	1.0
③減価償却費	12.0	11.7	14.2	19.5	26.9	26.2
④のれん償却額	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	4.9
⑤減損損失	0.0	11.7	0.0	0.0	0.8	12.4
①～⑤合計 EBITDA	106.6	95.1	107.7	112.2	90.9	97.6

連結税金等調整前純利益の増減

(億円)



セグメント別売上高と営業利益

(億円、%)

事業セグメント	2018年3月期	2019年3月期				
	通期実績	計画	実績	構成比	前期比(%)	計画比(%)
インテリアセグメント 売上高	1,208.5	1,230.0	1,195.0	74.5%	▲13.4(▲1.1%)	▲34.9(▲2.8%)
壁装材	575.8	—	571.5	47.8%	▲4.3(▲0.8%)	—
床材	428.7	—	431.1	36.1%	2.3(0.6%)	—
ファブリック	79.0	—	83.1	7.0%	4.0(5.1%)	—
その他(インテリア子会社含)	124.7	—	109.2	9.1%	▲15.5(▲12.5%)	—
営業利益	57.5	62.5	61.7	104.7%	4.2(7.3%)	▲0.7(▲1.2%)
エクステリアセグメント 売上高	150.1	152.0	161.2	10.1%	11.0(7.4%)	9.2(6.1%)
営業利益	4.3	4.0	5.9	10.1%	1.5(35.0%)	1.9(48.5%)
照明器具セグメント 売上高	36.6	36.5	42.2	2.6%	5.6(15.4%)	5.7(15.8%)
営業利益	▲1.3	▲1.2	0.6	1.1%	2.0(—)	1.8(—)
海外セグメント 売上高	171.5	225.5	209.2	13.0%	37.6(22.0%)	▲16.2(▲7.2%)
営業利益	▲8.7	▲5.3	▲9.6	▲16.3%	▲0.9(—)	▲4.3(—)
営業利益(のれん等償却前)	1.6	4.8	▲2.8	▲4.9%	▲4.5(—)	▲7.6(—)
セグメント間取引調整(売上高)	▲2.9	▲4.0	▲3.5	▲0.2%	▲0.6(—)	0.4(—)
セグメント間取引調整(営業利益)	▲1.5	—	0.2	0.4%	1.7(—)	0.2(—)
連結売上高	1,563.9	1,640.0	1,604.2	100%	40.3(2.6%)	▲35.7(▲2.2%)
連結営業利益	50.3	60.0	58.9	100%	8.6(17.1%)	▲1.0(▲1.7%)

※営業利益(のれん等償却前) = 子会社取得に伴うのれん・無形資産・有形固定資産償却費を除いた営業利益

インテリアセグメント 関連市場の状況(壁装材)

壁装材 関連市場の状況 (カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

(億円)

新築住宅市場 (2018年1月~12月)

新設住宅着工戸数 前期比	持家	▲0.4%
	賃貸	▲5.5%
		▲2.3%

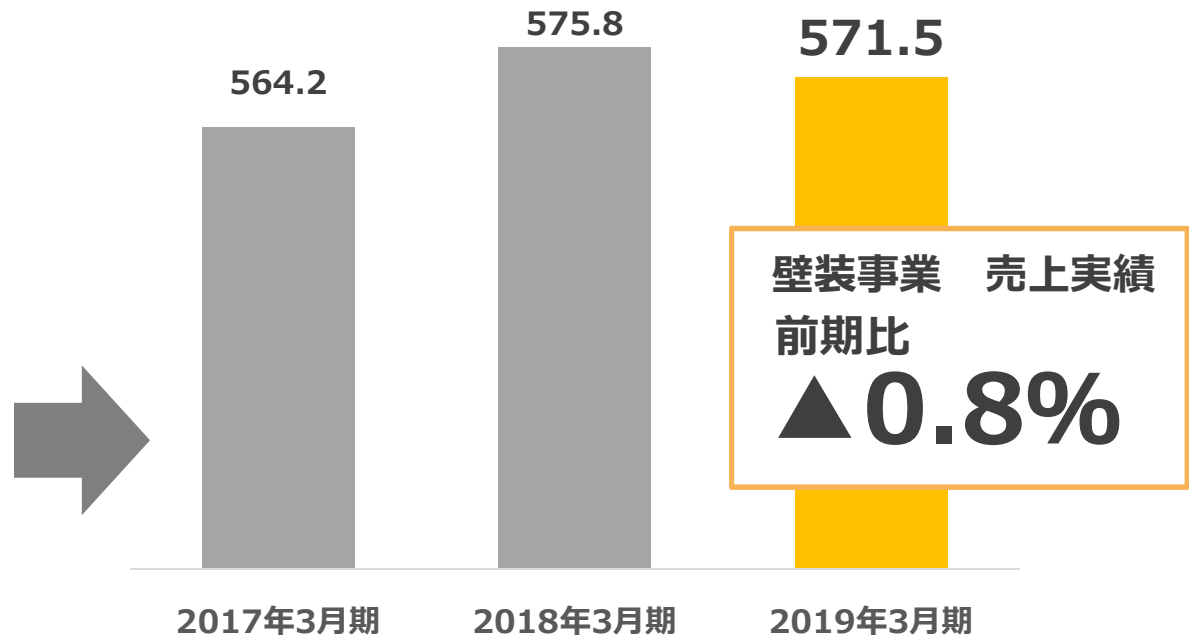
新設住宅着工床面積
前期比 **▲2.8%**

住宅リフォーム市場 (2018年4月~2019年3月)

前期比 **+1.5%**

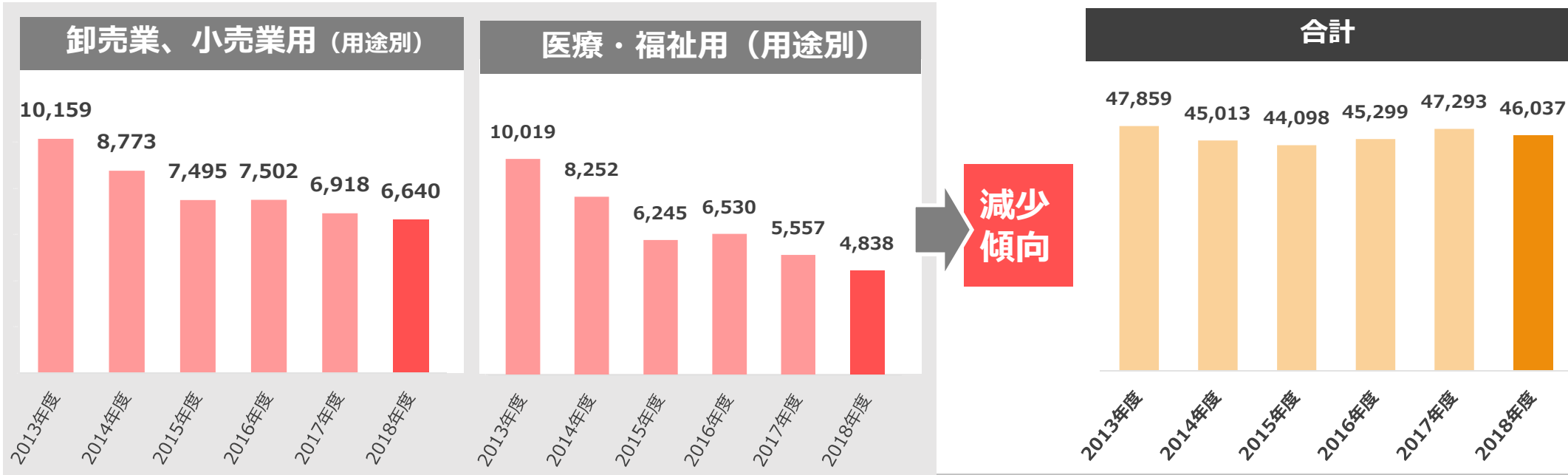
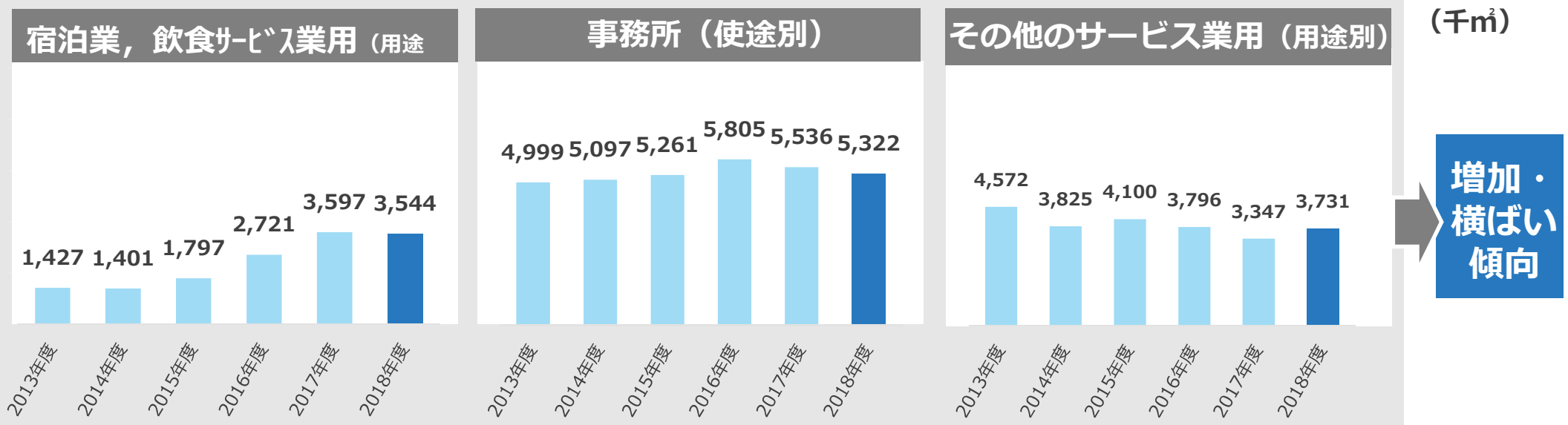
業界全体の壁装材出荷数量 (2018年4月~2019年3月)

前期比 **▲1.0%**



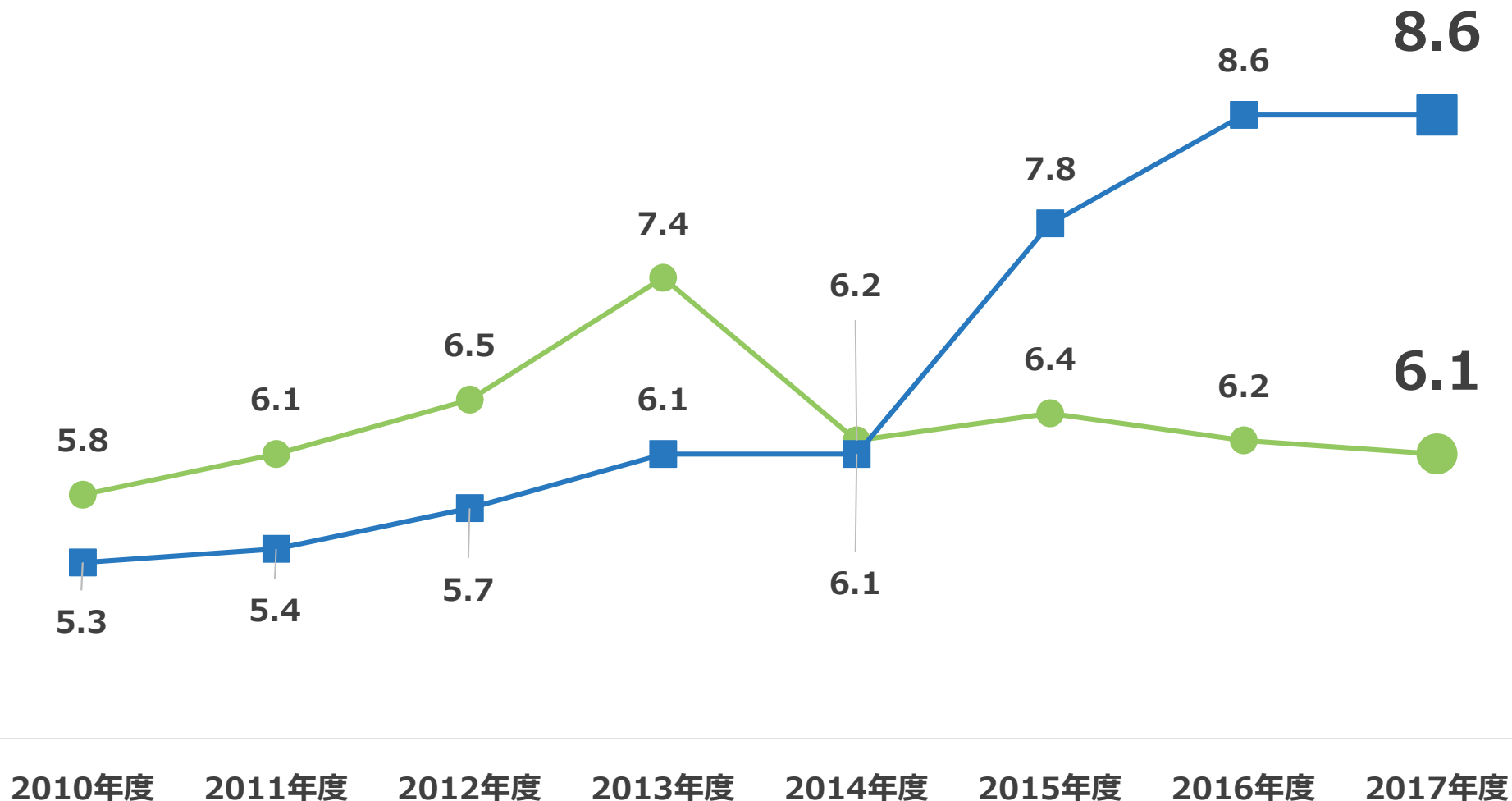
- 他社攻勢による量産壁紙（廉価品）の数量減
- 主力見本帳の市場浸透遅れによる数量減
- 非住宅向け見本帳「FAITH」「REATEC」の好調

外部環境 非住宅市場 新築着工床面積の推移



出典：国土交通省 建築着工統計調査

●住宅リフォーム市場規模 ■非住宅リニューアル工事受注高 (兆円)



出典：矢野経済研究所、国土交通省

インテリアセグメント 関連市場の状況(床材)

床材 関連市場の状況

(億円)

民間非居住建築物着工床面積
(使途別,倉庫・工場を除く)

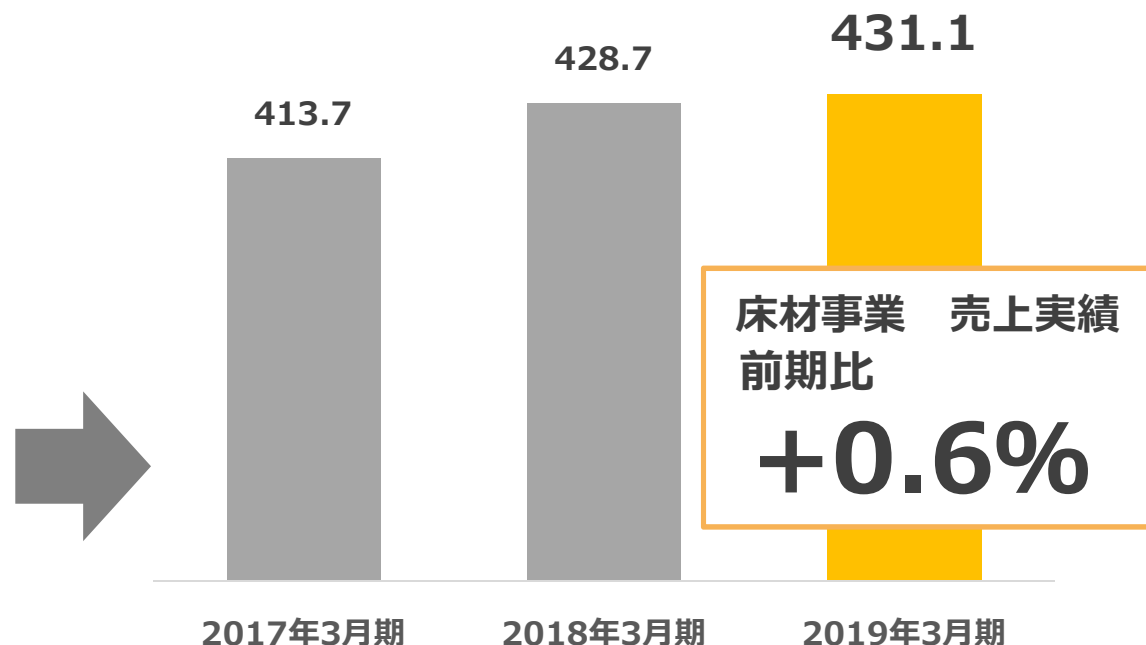
2017年度 前期比	▲0.7%	2018年度 前期比	▲3.3%
---------------	-------	---------------	-------

民間非居住建築物着工床面積(用途別)

	2017年度	2018年度
卸売業、 小売業用	▲7.8%	▲4.0%
宿泊業、飲食・ サービス業用	+32.2%	▲1.5%
医療・福祉用	▲14.9%	▲12.9%
その他の サービス業用	▲11.8%	+11.5%

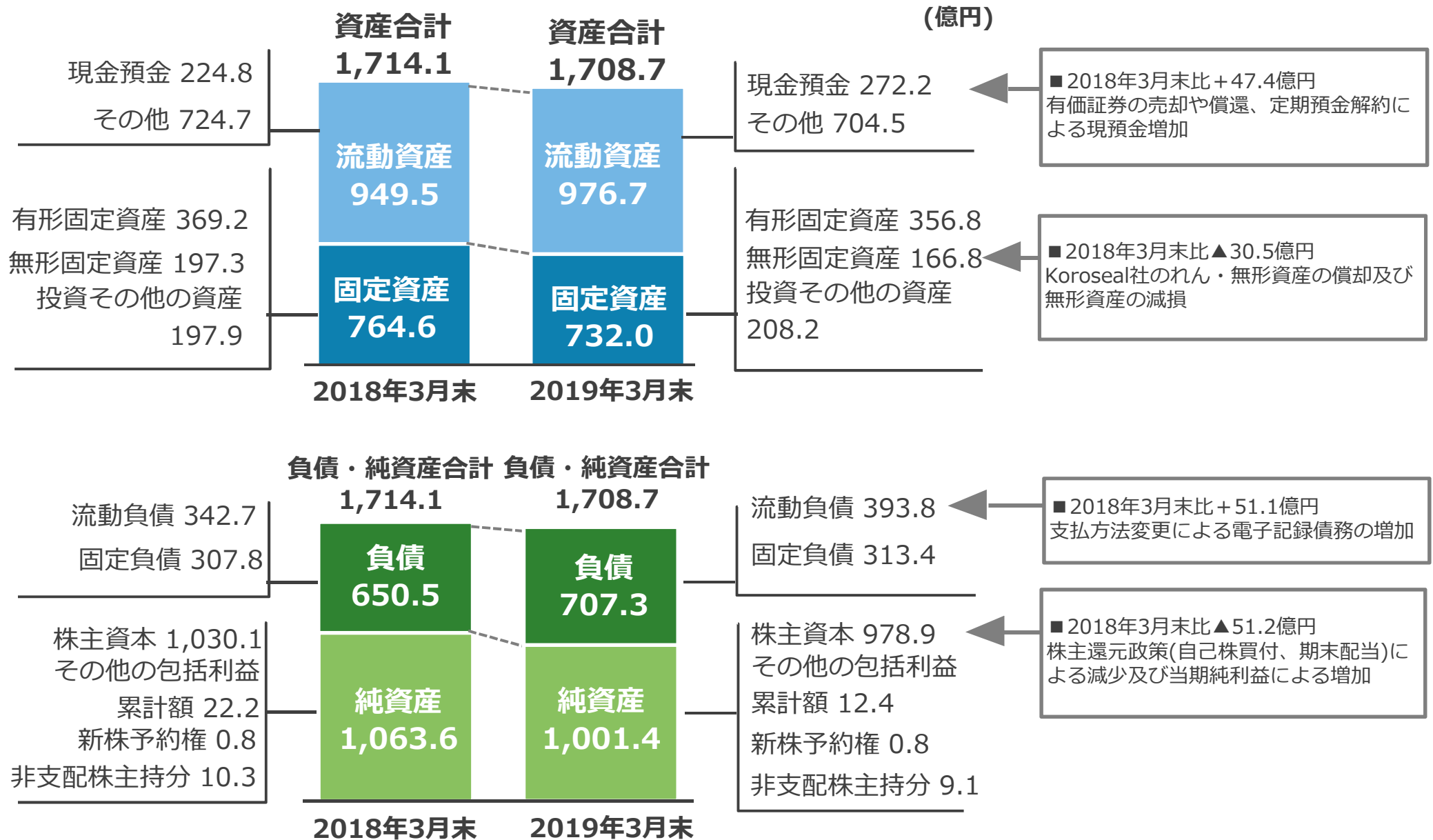
業界全体の商材別出荷数量 前期比
(2018年4月~2019年3月)

タフテッドカーペット	▲14.3% (4-3月)
カーペットタイル	+9.1% (4-3月)
長尺シート	▲5.9% (4-3月)
フロアタイル	▲9.1% (4-3月)



- オフィス・ホテル市場の好調によりカーペットタイル堅調
- 商業、賃貸住宅にてフロアタイル伸長
- 医療・福祉分野の縮小に伴い、長尺シートは減少

連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物 67.5億円増加

■ 営業キャッシュ・フロー +103.7

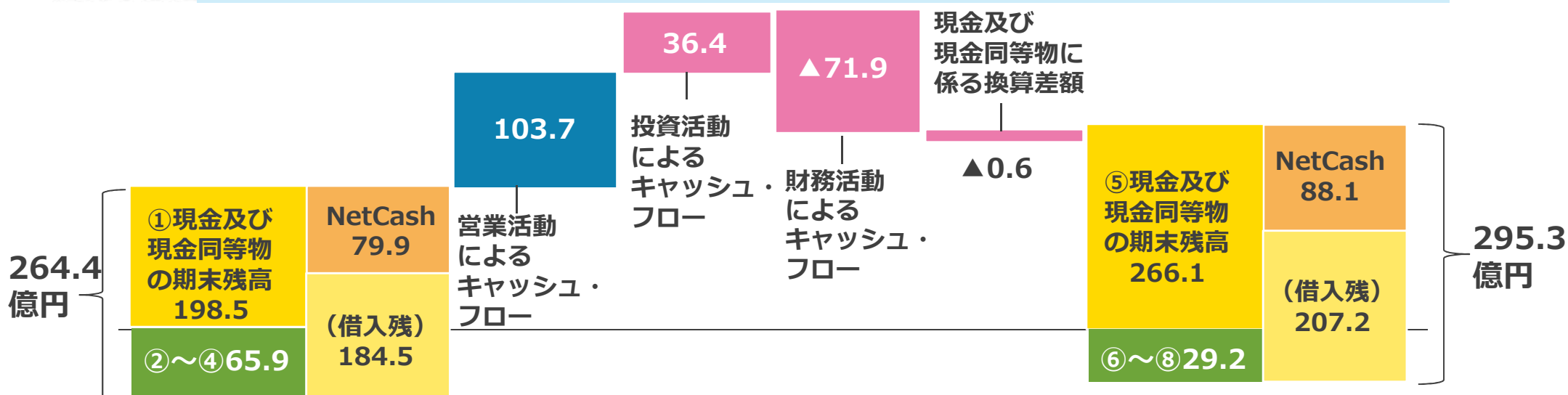
税金等調整前当期純利益 +52.8
減価償却費・のれん償却費 +33.6
仕入債務増加 +24.8

■ 投資キャッシュ・フロー +36.4 (億円)

有価証券・投資有価証券増減 +27.7
定期預金増減 +19.2
有形・無形固定資産取得 ▲15.9

■ 財務キャッシュ・フロー ▲71.9

自己株式取得 ▲52.9
配当金支払 ▲35.3
借入金増減 +16.0



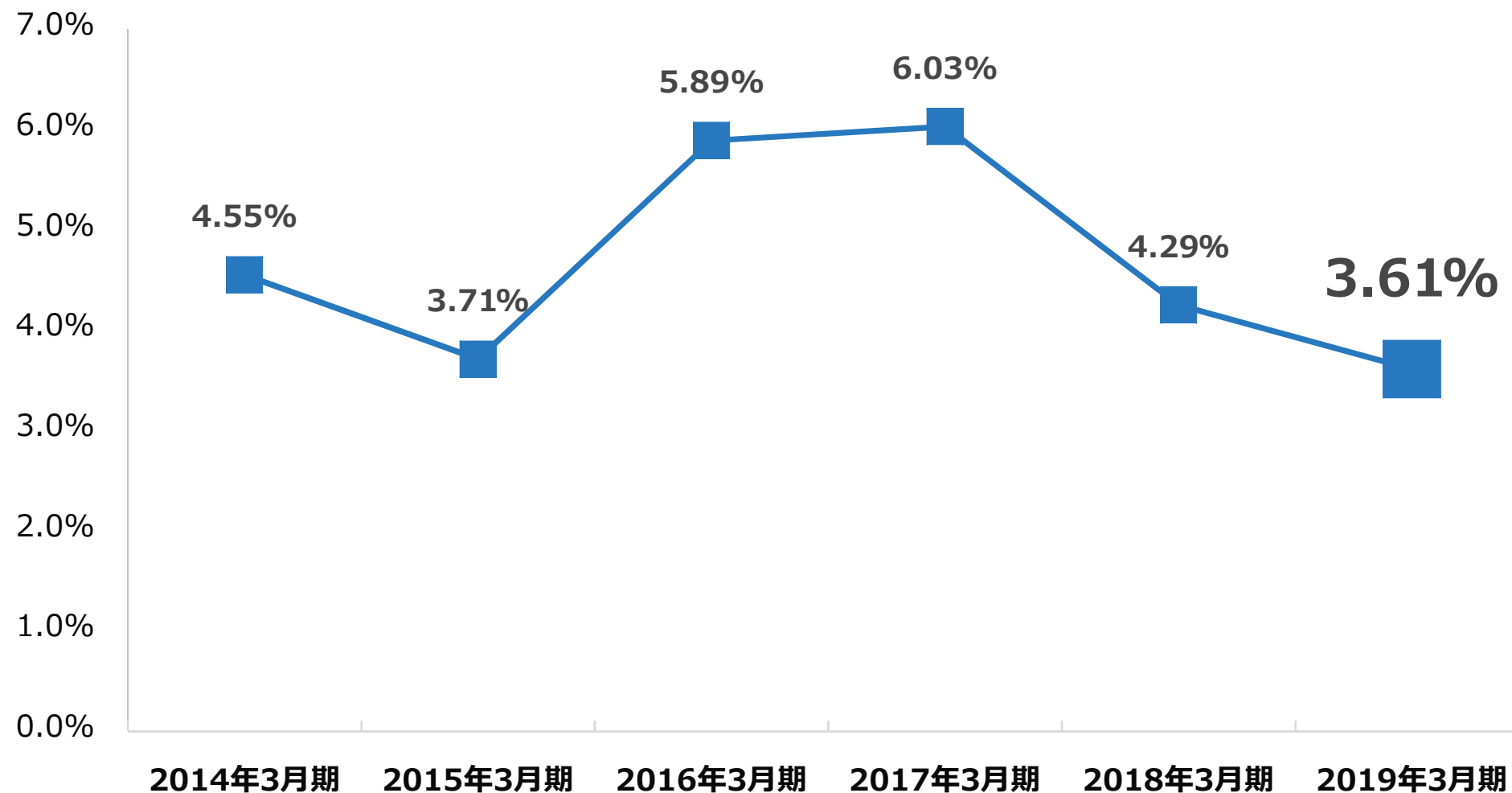
2018年3月末

- ① キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 198.5億円
- ② 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 26.2億円
- ③ 有価証券 20.0億円
- ④ 投資有価証券(株式除く) 19.6億円
- ①～④ **264.4億円**

2019年3月末

- ⑤ キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 266.1億円
- ⑥ 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 6.9億円
- ⑦ 有価証券 3.0億円
- ⑧ 投資有価証券(株式除く) 19.2億円
- ⑤～⑧ **295.3億円**

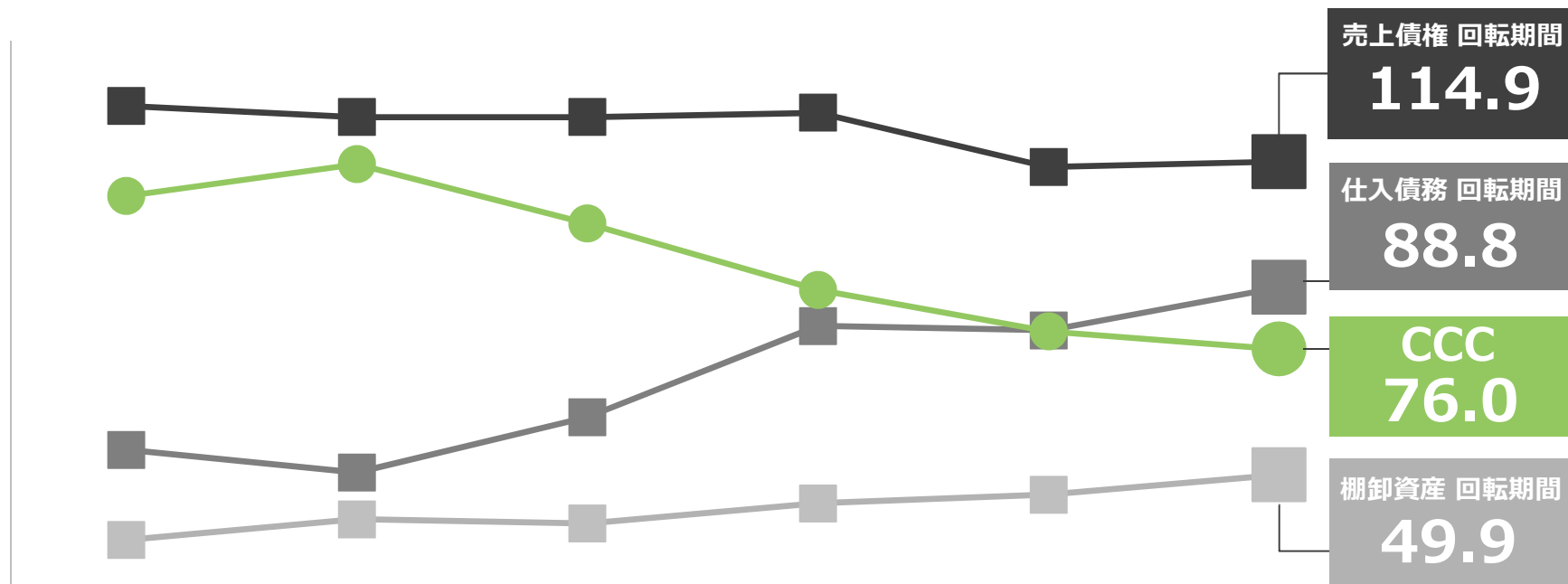
効率性指標（連結）ROE



※2017年3月期はKoroseal社連結前の総資産で算出
※2018年3月期はGoodrich社連結前の総資産で算出

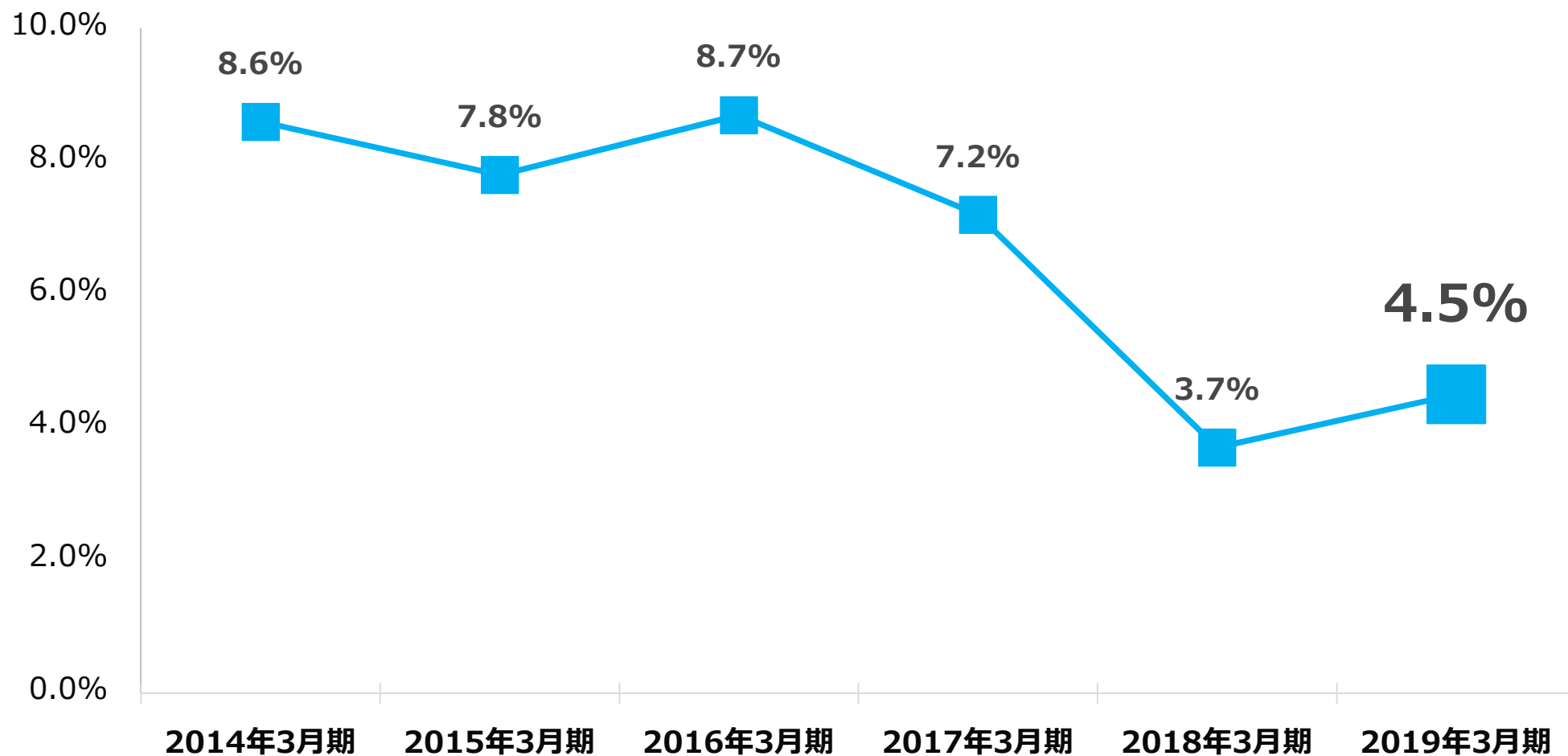
効率性指標（連結） Cash Conversion Cycle

(日)



	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
売上債権 回転期間	126.5	124.2	124.2	125.1	113.8	114.9
棚卸資産 回転期間	36.4	40.7	39.8	44.0	45.7	49.9
仕入債務 回転期間	55.1	50.4	61.9	80.8	75.7	88.8
CCC	107.8	114.4	102.1	88.3	83.8	76.0

効率性指標（連結） ROIC



※2017年3月期はKoroseal社連結前、2018年3月期はGoodrich社連結前の資産で算出
※税引後営業利益 / (運転資本+有形固定資産+無形固定資産)

中期経営計画(2017-2019) 「PLG 2019」 取組み状況と課題



① 成約・受注

(午後便の締め時間10時)



即デリバリー

(午後便出発13時~14時)

② 短時間 大量受注 (平均6万点/日)

③ 短時間 多数・多様な庫内加工 (カット・梱包)

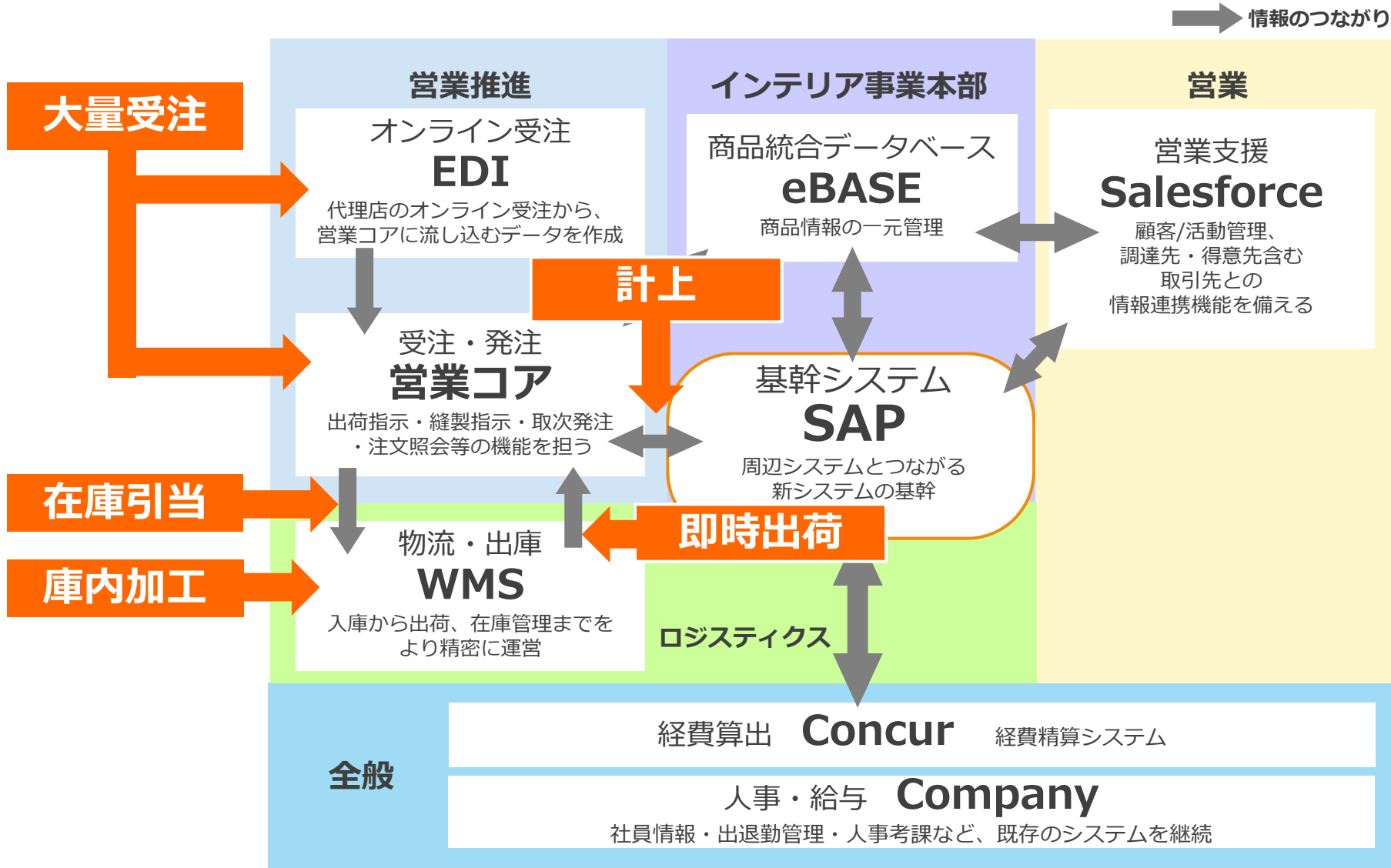
④ 即時 大量出荷



ITシステムの重要性

機能強化 新基幹システム稼働開始

●新基幹システム全体像



■ 低シェア地域への注力、地域に根差した営業活動の強化

- ・ サンゲツ沖縄：ショールーム、ロジスティクスセンター含め本格稼働
- ・ サンゲツ中国四国支社：岡山→広島に移転決定（2019年6月末予定）

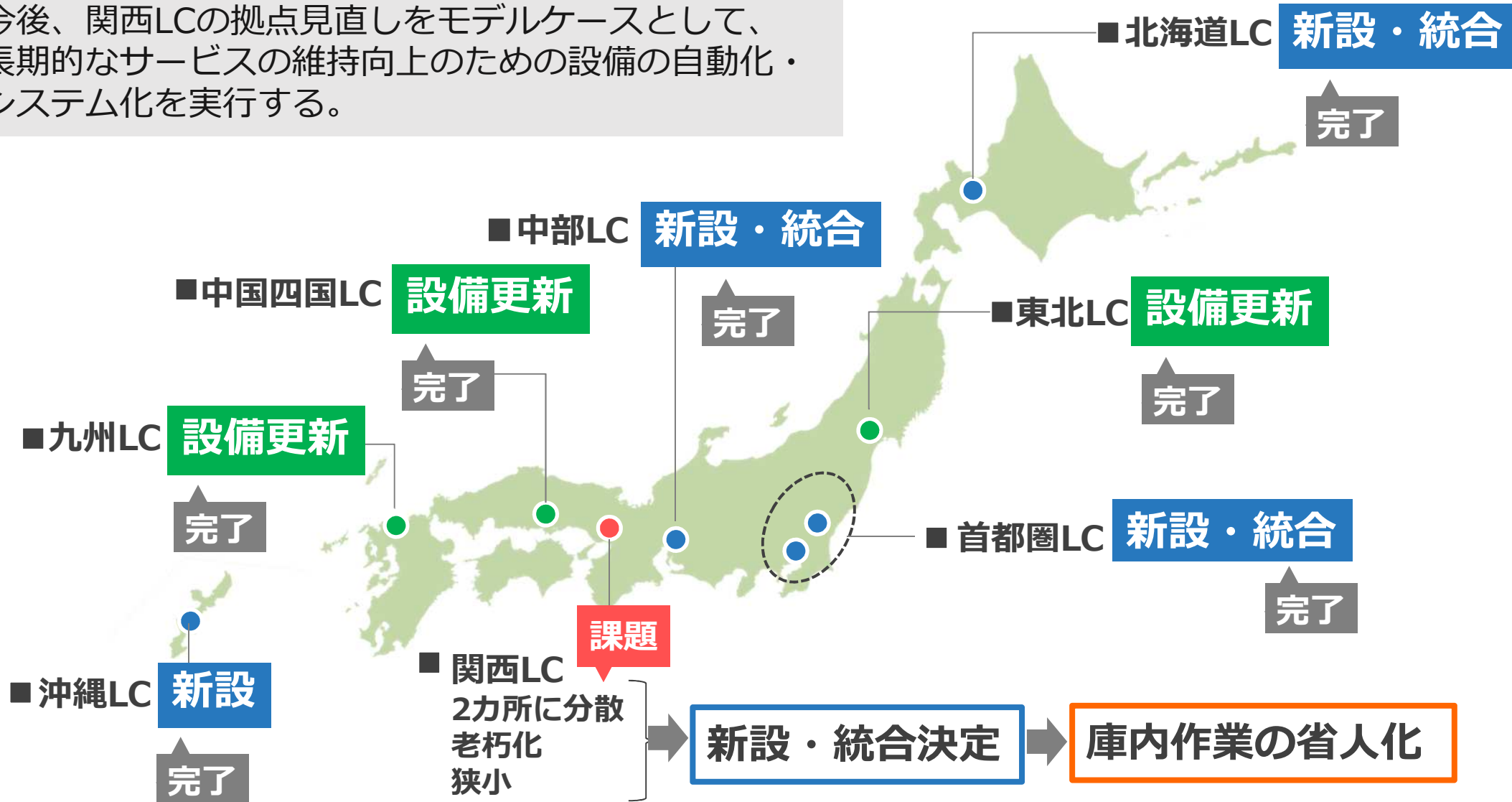
■ 営業体制全般

- ・ 個人→チームへの体制見直し、営業と営業推進（営業バックオフィス）の統合
- ・ ショールームでのインテリアアドバイザー制度スタート
（専門性の高い契約社員制度へ）
- ・ EC事業への進出：2019年3月、サンゲツヴォーヌでカーテンEC事業
「WARDROBE sangetsu」スタート

機能強化 ロジスティクス／拠点配置

持続性・効率化・拡張可能性に配慮した拠点配置。
今後、関西LCの拠点見直しをモデルケースとして、
長期的なサービスの維持向上のための設備の自動化・
システム化を実行する。

※LC:ロジスティクスセンター



機能強化 ロジスティクス／自社配送体制の強化

■ロジスティクス職掌制度

ロジスティクス業務の3PL化を前提に2017年度より高卒採用を中止。今般、変更方針自前体制構築のため、庫内加工・配送業務を主に担当する専門職掌制度スタート

■各地域での特性に応じた自社配送網の再構築

【東北地区 取り組み例】

地場配送会社と協力し、共配による物流網を構築



サンゲツ東北ロジスティクスセンター



東北地区大手配送業者



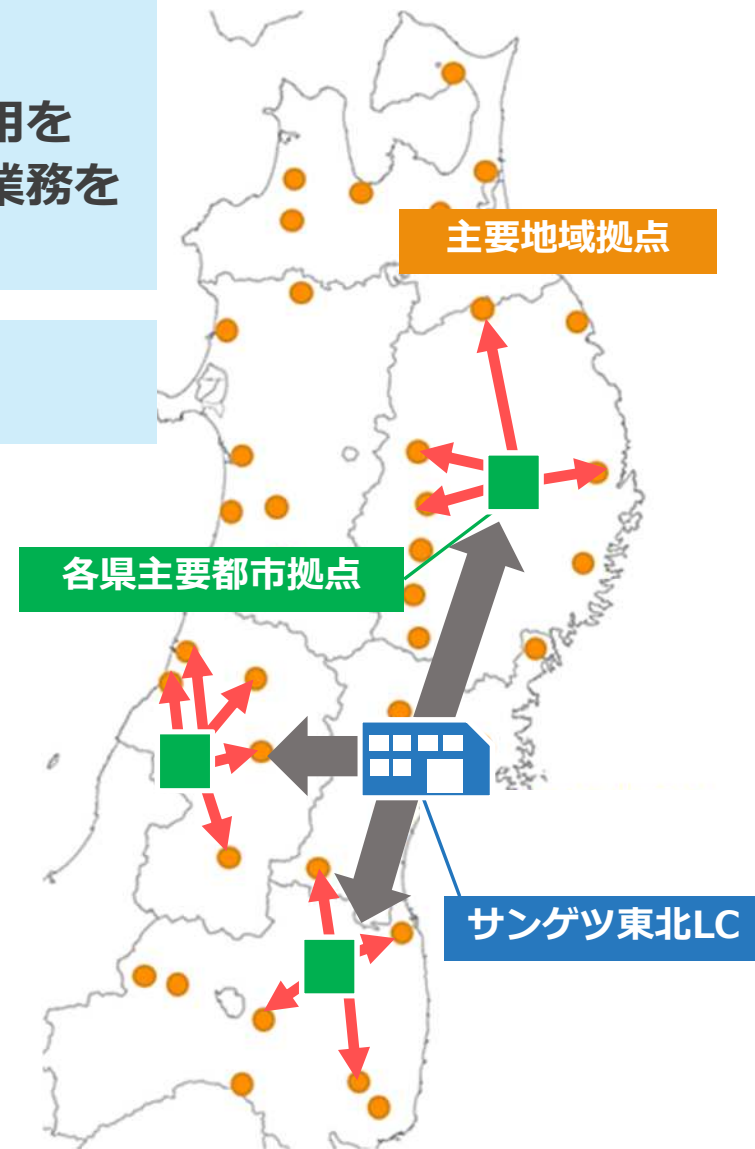
各県主要都市拠点 14カ所



エリア配送業者



主要地域拠点 29カ所



カーテン見本帳 「Simple Order」

ワンプライス、低価格のオーダーカーテン見本帳。大型家具量販店にも比肩する価格で売上拡大、ファブリック事業の回復をけん引



海外セグメントの取組み

米国 KOROSEAL 社

1. Louisvilleに所在する2工場の統合、新設備の導入
(7月/9月稼働スタート)
2. 急速に伸長するデジタル印刷壁紙の設備増強
3. ヨーロッパ有力非住宅向け壁紙メーカー
「VESCO」商品の取り扱い開始
4. サンゲツから経営幹部社員の派遣
経理部門へも社員を派遣



Louisville工場の新壁紙製造設備



Louisville工場の新デジタル印刷機

海外セグメントの取組み

中国 山月堂（上海）装饰有限公司

- ・ 日系顧客に加え、中国系顧客拡大
- ・ 床材取引の拡大

東南アジア Goodrich 社

- ・ サンゲツとの協業による新見本帳の発売
- ・ 商品開発担当はじめ幹部社員の若返り

山月堂(上海)とGoodrich社の協業

- ・ 山月堂（上海）とGoodrich上海の事務所統合
- ・ 共有ショールームを新設



Goodrich 新見本帳



上海ショールーム エントランス

業態の転換への取組み

2019年4月

リノベーション事業部新設

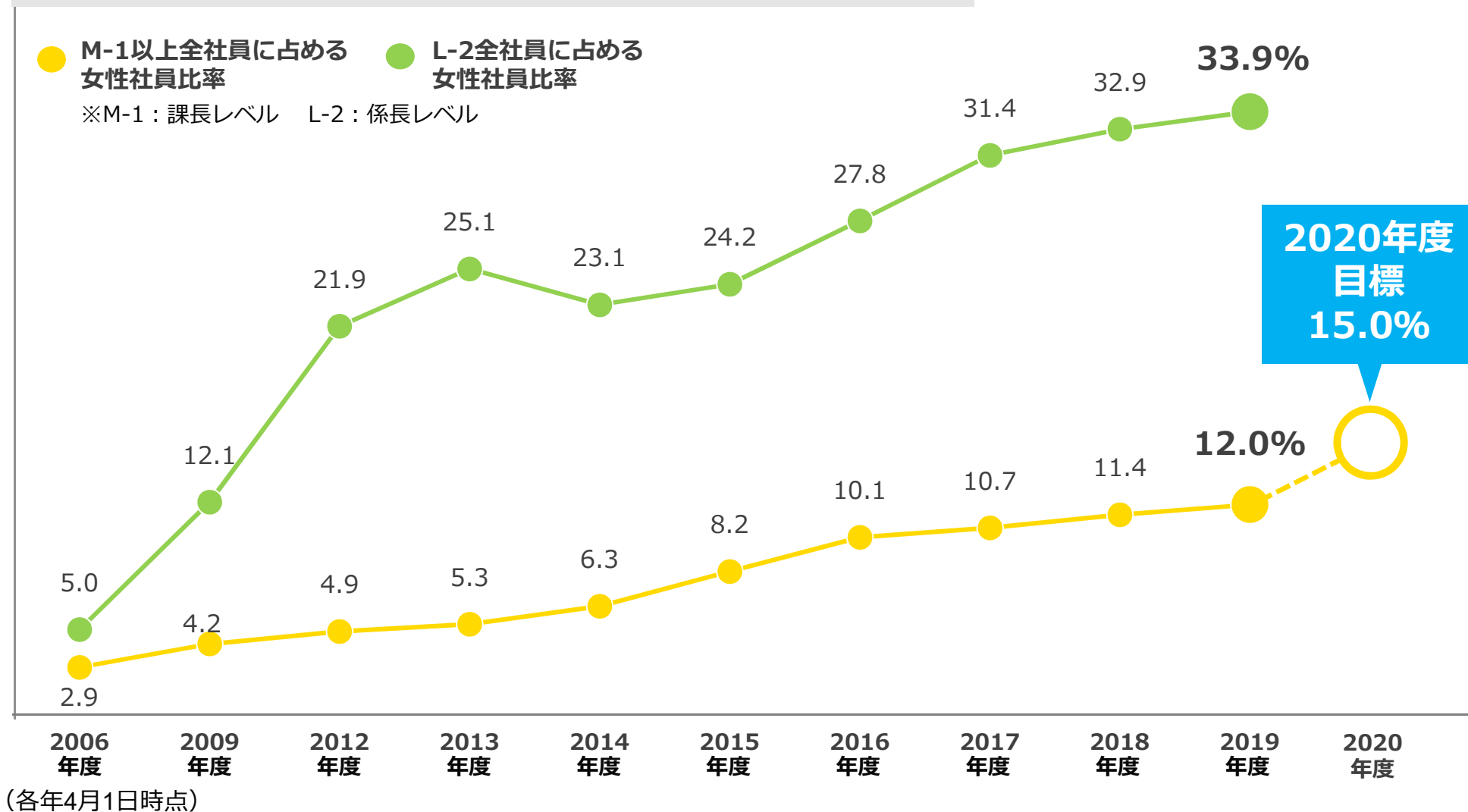
デザイン提案力、施工管理力、各種施工力により、
非住宅リニューアル市場での事業拡大を目指す



人的資源の強化 女性管理職比率の推移

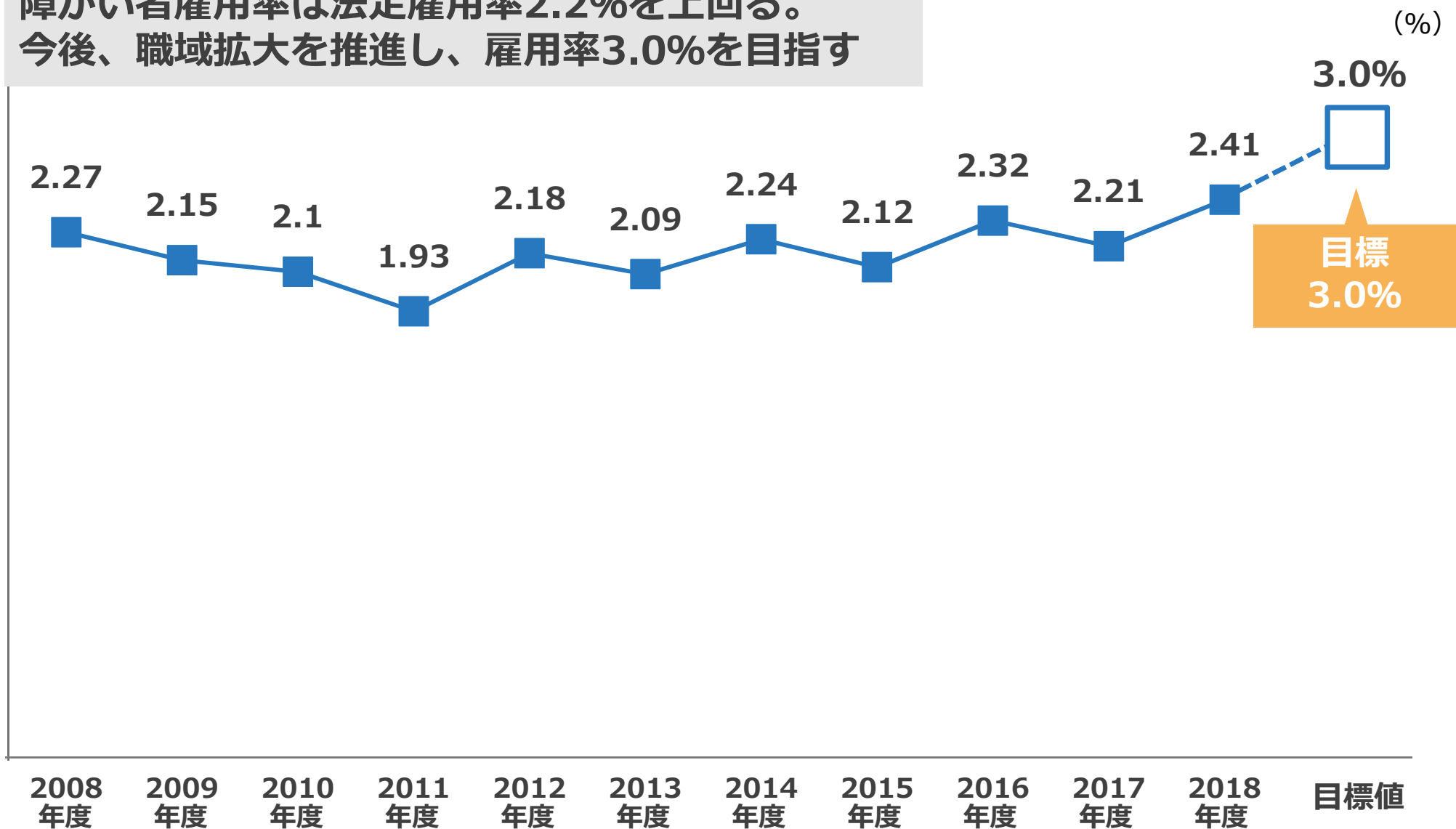
女性活躍においては、管理職（M-1以上）の比率
2020年度に15%を目指す

(%)



ダイバーシティ 障がい者雇用率の推移

障がい者雇用率は法定雇用率2.2%を上回る。
今後、職域拡大を推進し、雇用率3.0%を目指す



ESG／CSR 新しい取締役会構成と執行体制

取締役会（2019年6月株主総会承認後）

取締役会議長 兼 指名報酬委員	代表取締役	安田 正介	
指名報酬委員	取締役	伊藤 研治	総務・人事・経営監査・情報システム担当 兼 社長室長
監査等委員会委員長 兼 指名報酬委員会委員長	社外取締役	那須 國宏	弁護士 那須・岩崎法律事務所 (元日本弁護士連合会 副会長)
監査等委員 兼 指名報酬委員	社外取締役	羽鳥 正稔	元 株式会社力ネ力 副社長
監査等委員 兼 指名報酬委員	社外取締役	浜田 道代	名古屋大学名誉教授 (元公正取引委員会委員)
監査等委員 兼 指名報酬委員 新任	社外取締役	宇田川 憲一	元 東ソー株式会社 社長
常勤監査等委員 兼 指名報酬委員	取締役	佐々木 修二	元 営業本部長

■ 監査等委員を兼ねる取締役：業務執行取締役 比率

2018年度 5 : 5 ➡ 2019年度 5 : 2

■ 独立社外取締役：社内取締役 比率

2018年度 4 : 6 ➡ 2019年度 4 : 3

自己株取得の推移と株主還元

■ 2018年3月期

取得した株式の総数		株式取得額の総額・平均取得単価	
342.06万株		69.75億円	
中間配当(12月支払)	期末配当(6月支払)	総配当額	
17.99億円	17.87億円	35.87億円	
総還元額		105.62億円	連結総還元性向
			234.0%

■ 2019年3月期

	取得期間		取得した株式の総数	株式取得額の総額・平均取得単価
①	2018.0115~2018.0427	4月分	31.1万株	6.9億円
②	2018.0514~2018.0920		100.0万株	21.9億円
③	2018.0918~2019.0131		100.0万株	20.9億円
④	2019.0206~2019.0621	1,2,3月分	14.4万株	2.9億円
合計			245.53万株	52.82億円
中間配当(12月支払)	期末配当(6月支払)	総配当額		
17.52億円	17.52億円(予)	35.05億円		
期末配当28.5円/株(予)				
総還元額		87.87億円	連結総還元性向	245.5%

2020年3月期 通期見通し

これまでの課題取組みと今期計画

インテリアセグメント

- 過去の**販管費増**の一部を値上げで転嫁。収益力の改善
→ 価格の維持・販売数量・シェア回復による更なる改善
- 量産見本帳見直し

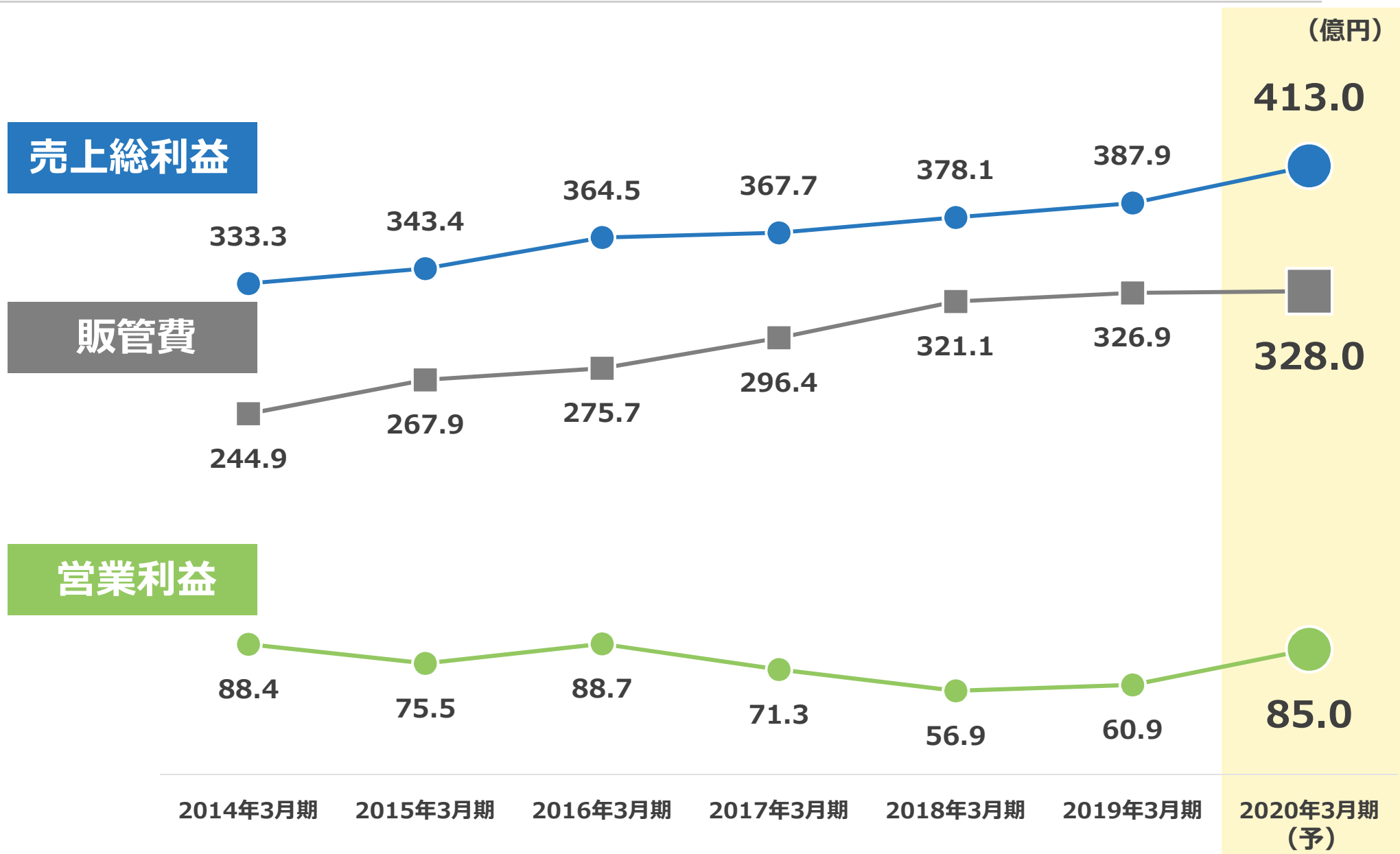
照明器具セグメント

- **照明事業の収益向上・成長戦略**
→ 売却・撤退

海外セグメント

- **収益改善**
→ 最大課題として全力投球
経営体制の強化、新規設備導入によるコスト競争力強化等

(サンゲツ単体) 売上総利益・販管費・営業利益の推移



連結業績 見通し(概要)

1 売上高 1,630億円 前期比+25.7億円 (+1.6%)

- ・ インテリアセグメント 前期比 +69.9億円 (+5.9%)
- ・ 海外セグメント 前期比 +5.8億円 (+2.8%)
- ・ エクステリアセグメント 前期比 ▲6.2億円 (▲3.9%)

【参考】 照明器具セグメント 前期実績 42.2億円

2 営業利益 80億円 前期比 +21.0億円 (+35.7%)

- ・ インテリアセグメント 前期比 +23.2億円 (+37.7%)
- ・ 海外セグメント 前期比 +2.4億円
(のれん等償却後)
- ・ エクステリアセグメント 前期比 ▲1.9億円 (▲32.7%)

3 当期純利益 57億円 前期比+21.2億円 (+59.2%)

連結業績計画

(億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期								
	通期実績	上期計画			下期計画			通期計画		
		前期差	前期比	前期差	前期比	前期差	前期比	前期差	前期比	
売上高	1,604.2	780.0	20.3	2.7%	850.0	5.4	0.6%	1,630.0	25.7	1.6%
売上総利益	507.2	253.0	17.6	7.5%	272.0	0.1	0.1%	525.0	17.8	3.5%
販売費及び 一般管理費	448.2	216.0	2.5	1.2%	229.0	▲5.7	▲2.4%	445.0	▲3.2	▲0.7%
営業利益	58.9	37.0	15.1	69.0%	43.0	5.9	16.0%	80.0	21.0	35.7%
経常利益	66.9	39.0	12.4	46.7%	44.0	3.5	8.9%	83.0	16.0	23.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	35.7	27.0	8.6	46.8%	30.0	12.6	72.4%	57.0	21.2	59.2%

連結セグメント別業績計画

(億円、%)

		2019年3月期	2020年3月期								
			通期実績	上期計画	前期差	前期比	下期計画	前期差	前期比	通期計画	前期差
インテリア	売上高	1,195.0	605.0	38.7	6.9%	660.0	31.1	5.0%	1,265.0	69.9	5.9%
	営業利益	61.7	40.5	16.7	70.7%	44.5	6.4	17.0%	85.0	23.2	37.7%
エクステリア	売上高	161.2	75.5	2.4	3.3%	79.5	▲8.6	▲9.8%	155.0	▲6.2	▲3.9%
	営業利益	5.9	2.0	0.2	11.1%	2.0	▲2.1	▲51.6%	4.0	▲1.9	▲32.7%
照明器具	売上高	42.2									
	営業利益	0.6									
海外	売上高	209.2	102.0	▲1.4	▲1.4%	113.0	7.2	6.8%	215.0	5.8	2.8%
	営業利益	▲9.6	▲3.8	▲0.0	—	▲3.4	2.4	—	▲7.2	2.4	—
	営業利益 (のれん等償却前)※	▲2.8	▲0.4	0.6	—	0.1	1.9	—	▲0.3	2.5	—
セグメント 間取引調整	売上高	▲3.5	▲2.5	▲0.3	—	▲2.5	▲1.0	—	▲5.0	▲1.4	—
	営業利益	0.2	▲1.7	▲1.8	—	▲0.1	▲0.2	—	▲1.8	▲2.0	—
合計	売上高	1,604.2	780.0	20.3	2.7%	850.0	5.4	0.6%	1,630.0	25.7	1.6%
	営業利益	58.9	37.0	15.1	69.0%	43.0	5.9	16.0%	80.0	21.0	35.7%

※営業利益(のれん等償却前) = 子会社取得に伴うのれん・無形資産・有形固定資産償却費を除いた営業利益

将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

Joy of Design